



令和7年1月11日（土） 冬季研修会  
道中理事務局長  
札幌市立北都中学校 校長 野田 隆之

1

## 研究主題

「理科の見方・考え方を働かせて資質・能力を育み、豊かな未来を切り拓く理科教育」

## 大会主題

研究部

「学びの再構築を通して、  
自然との共生に向かう理科教育」

2

## 大会主題設定に当たって

研究部



予測困難なできごとが頻発する現在の急激な変化の激しいVUCA時代には、従来の概念を覆す新しい概念や価値観が登場するといわれている。また、グローバル化は我々の社会に多様性をもたらし、急速な情報化や技術革新は人間生活を質的にも変化させつつある。こうした社会的変化の影響が、身近な生活も含め社会のあらゆる領域に及んでいる中で、教育が直面する新たな課題が明らかになってきた。

OECDは複雑で予測が困難な世界を生き抜くために、各教科で学んだ知識を融合して考え、知識の有用性を具体的に検証したり、習得した知識を問題解決に活用したりすることや、既習の知識を未知の状況に適應させるためのスキルが必要であると述べている。また、これらの知識やスキルの適切な活用は、探究への意欲や他者への信頼、考えの多様性や美徳の尊重など態度や価値のもとでなされるとしている。

このような知識、スキル、態度と価値は、相互に結び付いて私たちの社会を変革し、未来を創るための力として機能していく。理科教育においては、学びの中で獲得した知識を身近な生活の中に見いだしたり、知識と知識を結び付けて自然の事象に重ね合わせて自然を理解し、多面的、総合的に捉えたりする必要がある。また、未知なる問題に直面した際にも解決に向かえるように、自らの学び方を更新していく必要がある。

今大会では、これからの未来を切り拓き、地球という閉鎖系の中で自然とともに生きる私たち人間の在り方を正しく判断できる生徒の育みを願って、大会主題「学びの再構築を通して、自然との共生に向かう理科教育」を設定した。全国各地で行われている様々な角度からの研究実践が、大会を通して議論され、未来を切り拓く生徒たちに還元されることを期待している。

3

## 開催期日・会場・取扱業者



### 開催期日

令和7年8月6日（水）～8日（金）

### 開催会場

会場部

庶務・受付接待部

札幌市教育文化会館 ホテルライフォート札幌



一部リニューアル

- ・若い理科教師の集い
- ・開会式
- ・文科省講演
- ・分科会
- ・全体会
- ・学術講演
- ・閉会式



- ・役員会
- ・理事会
- ・ブロック打合せ
- ・レセプション

### 取扱業者

名鉄観光サービス株式会社

4

# 日程



	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
1日目 8/6(水)	9:30 10:30				受付	役員会	理事会			ブロック打合	レセプション
											若い理科教師の集い
2日目 8/7(木)	受付	開会式	文部科学省 講演(90分)	25 昼食 15 生徒発表	分科会(4分科会) (210分:35分×5名+35分)						
3日目 8/8(金)	受付	全体会	学術講演 (80分)	閉会式	(教育視察)						

※今まで行っていた写真撮影は、今回から行いません。  
12/1の全中理役員来札時の打合せで、近年は購入する方も少なく、行われていないとのことでした。

5

# 受付、役員会その他、レセプション



	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
1日目 8/6(水)	9:30 10:30				受付	役員会	理事会			ブロック打合	レセプション
											若い理科教師の集い
2日目 8/7(木)	受付	開会式	文部科学省 講演(90分)	25 昼食 15 生徒発表	分科会(4分科会) (210分:35分×5名+35分)						
3日目 8/8(金)	受付	全体会	学術講演 (80分)	閉会式	(教育視察)						

【受付】業者設定によるQRコードリーダー活用  
必要資料の配付

庶務・受付接待部

【役員会・理事会・ブロック打合せ】  
全中理事務局と連携して開催

事務局

※雰囲気や内容は甲府大会で確認済み。また、全中理事務局と確認済み。

【レセプション】業者、ホテルと連携してメニュー等確定  
※北海道らしいメニュー???

庶務・受付接待部

6

# 若い理科教師の集い



	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
1日目 8/6(水)	9:30 10:30				受付	役員会	理事会			ブロック打合	レセプション
											若い理科教師の集い
2日目 8/7(木)	受付	開会式	文部科学省 講演(90分)	25 昼食 15 生徒発表	分科会(4分科会) (210分:35分×5名+35分)						
3日目 8/8(金)	受付	全体会	学術講演 (80分)	閉会式	(教育視察)						

北海道大会のポイント!

【集まれ!全国の若い理科の先生!】

研究部(ユースネット)

- ・前回の全中理北海道大会、昨年度の東京大会に引き続き、「若い理科教師の集い」を開催。
- ・20歳代、30歳代の若い理科教師が集まり、親交を深めます。若手ならではの斬新な授業のアイデアや実践の交流、授業や学級経営などでの苦労を共に語り合い、これからの活躍の糧に。
- ・全国の若手理科教師の輪をつくる集いに。
- ・企画・運営は北海道の若手理科教師が担当。

7

# 文部科学省講演・生徒発表



	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
1日目 8/6(水)	9:30 10:30				受付	役員会	理事会			ブロック打合	レセプション
											若い理科教師の集い
2日目 8/7(木)	受付	開会式	文部科学省 講演(90分)	25 昼食 15 生徒発表	分科会(4分科会) (210分:35分×5名+35分)						
3日目 8/8(金)	受付	全体会	学術講演 (80分)	閉会式	(教育視察)						

【文部科学省講演】文部科学省 初等中等教育局 教科調査官(予定)  
※全中理事務局から依頼済み → 春までには決まる

事務局

研究部

【生徒発表】札幌市中文連「私たちの科学研究発表会」の発表から

研究部

8

# 分科会

研究部

運営は部を超えて



	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
1日目 8/6(水)	9:30 10:30				受付	役員会	理事会			アロウ打合	レセプション	
若い理科教師の集い												
2日目 8/7(木)	受付	開会式	文部科学省 講演(90分)	25 昼食 15 生徒発表	分科会 (4分科会) (210分: 35分×5名+35分)							
3日目 8/8(金)	受付	全体会	学術講演 (80分)	閉会式	(教育視察)							

分科会名	分科会主題と発表担当ブロック
第1分科会 教育課程	「自らの学びを再構築し、科学的に探究する資質・能力を育む教育課程」 【発表担当】北海道、東北、関東・甲信越、東京、中部、中国・四国
第2分科会 学習・評価	「理科の見方・考え方を働かせ、自らの学びを再構築する学習指導と学習評価」 【発表担当】北海道、関東・甲信越、東京、近畿、九州、私立・国立等
第3分科会 観察・実験	「自らの学びを構想し、科学的に探究することができる観察・実験」 【発表担当】北海道、東北、近畿、中国・四国、九州、私立・国立等
第4分科会 環境教育	「自然を多面的・総合的に捉え、自然との共生に向かう環境教育」 【発表担当】北海道、東北、中部、近畿、九州、私立・国立等

9

# 分科会

研究部

運営は部を超えて



	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
1日目 8/6(水)	9:30 10:30				受付	役員会	理事会			アロウ打合	レセプション	
若い理科教師の集い												
2日目 8/7(木)	受付	開会式	文部科学省 講演(90分)	25 昼食 15 生徒発表	分科会 (4分科会) (210分: 35分×5名+35分)							
3日目 8/8(金)	受付	全体会	学術講演 (80分)	閉会式	(教育視察)							

・各ブロックの発表者を集約中 → 大会要項作成へ **編集部**  
※まだ未定のブロックが多い。(東京もまだ…オーディションするとか…)

・道内各地区の発表 **研究部** **各地区**  
…発表者のいる地区が運営担当地区として札幌と協力して運営する

第1分科会 (教育課程) 釧路 釧路市立大楽毛中学校 杉森 瑠奈 先生  
第2分科会 (学習・評価) 函館 函館市立五稜郭中学校 片桐 尚哉 先生  
第3分科会 (観察・実験) 札幌 札幌市立明園中学校 芳賀 大二郎 先生  
第4分科会 (環境教育) 旭川 旭川市立永山中学校 田中 秀平 先生

10

# 学術講演

事務局

研究部



	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
1日目 8/6(水)	9:30 10:30				受付	役員会	理事会			アロウ打合	レセプション	
若い理科教師の集い												
2日目 8/7(木)	受付	開会式	文部科学省 講演(90分)	25 昼食 15 生徒発表	分科会 (4分科会) (210分: 35分×5名+35分)							
3日目 8/8(金)	受付	全体会	学術講演 (80分)	閉会式	(教育視察)							

【講師】榎戸 輝揚 氏  
(京都大学 理学研究科 物理学准教授)

【演題】未定



北海道(札幌)出身の宇宙物理学者。シチズンサイエンスで雷の謎に挑む雷雲プロジェクトや、X線天文学、宇宙線での月の水探しや月面天文台など、最新の話題について御講演いただく予定。

11

# 学術講演

事務局

研究部



【講師】榎戸 輝揚 氏  
(京都大学 理学研究科 物理学准教授)

・道中理第21代会長の高橋伸充先生の教え子 **講師選定のポイント!**  
(平成7年度あやめ野中 1年生)  
・中文連科学研究発表会で発表。  
・札幌の科学の研究を、過去から現在、未来へ、あるいは生徒の視点から教師の視点まで時空を超えてつなげた先生といえる。北海道大会で、かつて生徒として研究発表した方が、今度は教える側として講演をしていただけることに、単に運命だけではない、北海道の理科教育に関わるものとして誇りを感じる…。

京都大学訪問 講師依頼 打合せ (12/13-15)

・三浦雅美会長、古川副会長、野田事務局長の3名  
・京都大学の研究室でお話を伺い、その後懇親会

・三浦、古川、野田は、その後も京都自主研修実施。



12

## その他(経過と今後)



### ●10/2(水) 取扱業者(名鉄観光)打合せ

- ・参加申し込みの専用WEBシステム、
- ・参加証、受付(QRコード)、当日受付、
- ・大会参加費→銀行振込、弁当の手配、教育視察 など

### ●12/1(日)2(月) 全中理役員来札

- ・北海道大会会場視察、打合せ ・道教育長、市教育長 表敬訪問
  - ※ R7北海道大会では、**できる限りPDFデータの活用**を検討(これについては、全中理事務局もいつかは、と考えていた模様)
  - ※大会要項(大会誌)についても、PDFでいい方にはPDFで。どうしても必要な方には冊子でお渡しする形に。
  - ・理振協会からの支援金は例年印刷製本費で支出しているが、ネット環境整備費等に使っていいか、全中理で確認、検討中。
  - ・その他、全中理事務局からの確認事項の確認

### ○1月～2月 取扱業者打合せ、会長担当役員事務局打合せ

### ○2/14(金) 第2回準備委員会

- ・新年度立ち上げ運営委員会組織の確認、各部検討事項確認

13

## その他(令和7年度)



### ○4/12(土) 第1回運営委員会

### ○4/26(土) 常任理事会・理事会・総会

※道中理DX推進室の設置  
(事務局直下に設置、室長を庶務部副部長(本間先生)とし、部を超えて数名で組織する)

### ○5/22(木) 全中理役員会

### ○5/26(月) 第2回運営委員会

### ○6/20(土) 第3回運営委員会

### ○7/28(月) 第4回運営委員会

※夏季研修会はありません

**8/6(水)～8(金) 全中理北海道大会**

14



オール北海道、チーム道中理を基盤として、**DX**を意識しつつ、**持続可能な方法**を模索しながら準備を進めてまいります。

15